

新聞各紙の地方版トップ、読書欄などで話題の本

宮地嘉六と街を歩く 小説・随想集〈広島・関西編 1〉

呉市ゆかりの作家 **宮地嘉六**（みやち・かるく） 著

生誕125年記念



郷土を語る史料として必読

広島・大阪の庶民の暮らしを
見つめた珠玉の作品群
没後半世紀の節目に再発掘

休山舎

呉・広島・大阪の小説の
舞台を辿る散策の友

音戸の瀬戸、倉橋、警固屋など
ふるさとの地名が作品に登場
明治・大正の街並も再現

明治・大正・昭和の激動の時代を駆け抜けた放浪の作家・宮地嘉六への高まる注目。青春期のほろ苦い記憶を描いた「煤煙の市」、島の町を舞台にした恋愛小説「音戸の瀬戸」、海軍の街の秘話を描いた「軍港風景」、その名を全国に轟かせた呉海軍工廠の大ストライキと大正初期の大阪・安治川界隈の庶民の暮らしを描く「騒擾後」に加え、著作集未収録の随筆「呉にいた時分」を掲載誌から発掘して収録。

1,575 円（本体価格 + 税） B6 並製 128 頁

ISBN978-4-904328-01-9 C0093

出版元＝合同会社 休山舎（きゅうざんしゃ）

ご注文の方はこのチラシを置いている書店に以下の注文書をお渡し下さい。

注
文
書

ご住所

お名前

電話番号

冊
数

休山舎 FAX 0823-22-8567
TEL 0823-24-6240

宮地嘉六と街を歩く
小説・随想集〈広島・関西編 1〉
宮地嘉六 著

ISBN978-4-904328-01-9 C0093
1,575 円（本体価格 + 税）